

株式会社ジェイコム埼玉・東日本 仙台局
2023年度 放送番組審議会 議事録

【日時】2024年3月29日（金）15時～16時30分

【場所】株式会社ジェイコム埼玉・東日本 仙台局

<放送番組審議会委員>

ご出席（五十音順）

相澤美和様	佐々木裕子様
谷田至史様	早坂美代子様
渡部洋平様（審議会委員長）	

ご欠席（五十音順）

浅野義則様	高山秀樹様
-------	-------

<事業者：株式会社ジェイコム埼玉・東日本>

仙台局 局長	稲吉正美
仙台局 地域プロデューサー	土屋暢志
仙台局 地域プロデューサー	結城麻友子

（制作担当）

JCOM株式会社 J:COMプロダクション本部 映像制作第一部
埼玉・東日本制作グループ 仙台拠点長 藤原直軌

1. 開会（事務局）

- ・出席者の紹介
- ・事業者紹介

2. 仙台局による地域との関わりについて（土屋）

- ・泉警察署とJ:COM 仙台が地域安全に関する協定を2023年10月に締結
社用車で女性、子ども、高齢者等の見守り活動、コミュニティチャンネルで安心安全情報の発信
- ・新サービス紹介（一戸建て防犯カメラ）
- ・青少年の健全育成活動を応援するため、仙台市各地区、富谷市の中学生による弁論大会を特番放送

3. 2023年度 J:COMチャンネルの報告(藤原)

- ・ J:COMチャンネル 制作体制/編成方針/地域情報番組説明
- ・ 「ど・ろーかる」をコンセプトにより地域に密着した情報を徹底的に”地元目線”で発信
- ・ 番組「ジモトトピックス」について
週1更新で地域イベントや行政情報などニュース本数を増やしコンテンツの充実化
- ・ 全国に発信する地域の安心安全コンテンツ 新番組「こちらJ:COM 安心安全課」を制作
放送に限らず、アプリ、YouTube、SNSで地域の好事例を全国に発信
- ・ 震災特番 「復興から防災へテクノロジーでつなぐ」をテーマに制作
- ・ 前年制作の震災特番がCATV 連盟北海道・東北支部 番組コンクール「準グランプリ」受賞
- ・ ふくあじ 放送作家 小山薫堂氏が原案・提唱の料理人が紡ぐ人情グルメ番組が人気
放送作品をYouTubeに公開し、地域の飲食店を応援、地域産業の発展に貢献

【審議】

◆各番組のご意見・ご感想・課題・改善案など

対象番組:「ジモトトピックス」「こちらJ:COM 安心安全課」「震災特番」

(ご意見/佐々木委員)

- ・ いずみ絆PJで泉区内の大学が取り組む地域課題解決の取り組みを取材して頂き感謝している。
- ・ 大学生で震災の事を覚えていない大学生が増えてきており、震災番組の取り組みは継続して欲しい。
今年は能登半島地震があり、宮城県内では「震災は終わった」という意識があったがその意識は変わってきていると感じている。
- ・ 勤務する仙台白百合女子大学では半数近くの学生が一人暮らしで、保護者の方が仙台市はどんな街か知りたいという要望があり、地域の情報はとても良い。コミチャンを通じて安心して暮らせる街という事を知って頂く機会になっている。引き続き、地域情報の発信に取り組んで欲しい。

(ご意見/谷田委員)

- ・ ジモトトピックスでは地元の取り組みに密着したニュースが多くて良い。移動スーパーのニュースでは利用者にインタビューするだけではなく、買い物困難者の今後増加する予測データを紹介しており社会の状況をすくい取りながら地元密着が出来ていて感心した。
- ・ 番組「こちらJ:COM 安心安全課」は大学生が考案する防災レシピを紹介していたが良い視点だった。
- ・ 震災特番で社会貢献を理念にしている企業を取材しており、取り組みだけに焦点を当てているのではなく、その活動に至った思いに焦点を当てており良いと感じた。
- ・ それぞれの番組が一步踏み込んだ内容になっており、視聴者にも伝わると良いと思う。

(ご意見／相澤委員)

- ・番組「こちら J:COM 安心安全課」で牛乳パックを使った料理を行っていたのが災害発生時には実践的。震災番組は3月になると各放送局で制作するが、日頃からこうした定期的な情報発信は良い。
- ・富谷市の中学生による弁論大会の特番化に感謝。各中学生の弁論が多くの方に聞かせる機会となった。
- ・グルメ番組「ふくあじ」で緒(いとぐち)さんを紹介していたが、とても上品な味で居心地が良い店で、こうした地域の良いお店を引き続き取り上げて行って欲しい。
- ・スポーツ応援番組「杜モリ☆スポーツ」は各スポーツ団体の活動をどの程度紹介出来ているのか？地域では様々なスポーツ活動が行われているので紹介して欲しい。

(回答／藤原)

- ・現在は仙台局がスポンサーをしている仙台 89ERS、マイナビ仙台レディースが中心。その他のスポーツ団体の紹介はニュース番組で実施している。

(ご意見／早坂委員)

- ・震災後、地域に根差した防災や新たな取り組みなど行われている。いま、宮城県では大きな企業が進出しており、以前から県内にある第一次産業、歴史や文化など沢山紹介して欲しい。宮城県にどのような歴史や文化があって、どのように発展してきたのか、なぜ大企業が仙台に来ているのか、掘り起こしをして紹介頂きたい。若い方には根付かないかもしれないが、長い歴史の中ではそういう所から地域コミュニティが生まれてきたと思う。
- ・元旦から能登半島地震があったが、沿岸部だけではなく山間部でも隣近所が判らない核家族化であり地域ローカルなコミュニティに入りやすい雰囲気広まっていけば良いと思う。

(ご意見／谷田委員)

- ・早坂委員から「宮城県外でいらした方にとって宮城県はどういう街なのか」という話を頂いたが、県外や海外からの流入者は今後増えていくと思う。ケーブルテレビで視聴の領域は決まっているが視聴エリア外に対しての情報発信は課題だと思う。アプリ以外での情報発信方法はあるか？

(回答／藤原)

- ・ケーブル多チャンネル契約者以外に導入済物件でもコミュニティチャンネルは視聴が可能。アプリ「ど・ろーかる」はエリアに関係なく全国から視聴が可能。特番は著作権で問題がない場合は YouTube でも生配信しており、視聴者のニーズの変化に合わせて様々な媒体で地域情報を発信していく事は必要だと感じている。

(回答／稲吉)

- ・視聴エリア外へのPRはこれまでも課題であった。県外に向けては東北だと J:COM 仙台しかなく、関東や関西の J:COM はエリアが面で繋がっており他県への情報発信が弱点。

(ご意見／谷田委員)

- ・他エリアから J:COM エリアにいらしたに向けて加入して頂く、放送を観て頂くために日頃から情報発信するのは有り得ると思う。日本人だけを対象にするのではなく在住の外国人向けも検討してみたいか？将来を見て考えてみるのも良いと思う。

(ご意見／渡部委員長)

- ・島田飴まつりなど地元密着のお祭りには古くからの文化があって、なかなか知れ渡っていない情報に焦点を当てて紹介する事は地域活性化になり、とても大切だと思う。
- ・震災番組も3月11日限定ではなく、今年は3月中と長期間放送していて良かった。当初から各テレビ局が3月11日のみ震災特番を放送する事に違和感を覚えた。
- ・町のPRは行政からは発信しづらい部分もあると思う、インバウンド需要も高まっているので情報発信して欲しい。例えば引越しの手続き方法など。
- ・視聴者が1年過ごすにあたっての季節ごとのイベントを放送しており、地域情報として良い。

(ご意見／相澤委員)

- ・同じ組織である埼玉の制作グループと交換する放送はあったか？

(回答／藤原)

- ・基本的には地域密着チャンネルなので地域ごとに取材・放送している。例えば埼玉の物産展が仙台で開催されたニュースなど、違和感がない場合に提供する場合はある。

(回答／土屋)

- ・先日、ヴォスコレ仙台がF2からF1昇格の入れ替え試合があり、地域にとって貴重な試合なので東京の制作会社に委託して取材・放送を行った事があった。

(回答／稲吉)

- ・現在は終了してしまった番組だが、Jテレで「ご当地サタデー」という番組があり全国の首長が東京のスタジオに生出演し、地域の魅力を全国発信する番組があり名取市が出演した事があった。

(ご意見／佐々木委員)

- ・過去情報だけではなく未来の事前情報はありますか？

(回答／藤原)

- ・ジモトトピックスの中でニュースは過去になってしまうので、後半でお店の開店情報やイベントを紹介している。公益性のあるものを中心に、お店情報については無料広告にならないように取捨選択している。

(ご意見／佐々木委員)

- ・地域の伝説や昔話など面白いと思う。

(回答／藤原)

- ・全国に眠る地域のカッパなど妖怪を特集として紹介した事があった。今後も検討してみたい。

(ご意見／渡部委員長)

- ・コミュニティチャンネルの視聴ターゲットは？

(回答／藤原)

- ・現在はシニアの方が多いのでヤングファミリー層に向けて取り組む必要がある。
その対策として安心安全番組は3分番組で制作。放送だけではなくX(旧Twitter)、Noteで配信。
Noteはアーカイブとして見やすいメリットがあるので、こうした時代の視聴ニーズの変化に合わせて対応していく必要があると感じている。
- ・ジモトトピックスは週更新なので放送する頃には古い情報になってしまう。その対策として放送前にXで配信し始めた所、良い反響がありこれまでコミチャンを知らなかった層へのアプローチになっていると感じている。

(ご意見／佐々木委員)

- ・新たに宮城で暮らす人たちにとって医療情報も大切。どんな先生なのか性別、親しみやすさなどホームページでは判らないのでテレビで紹介するのも良いと思う。

(回答／藤原)

- ・今後、検討してまいります。

3. 閉会(稲吉)

皆さまからの貴重なご意見ありがとうございました。

多くの方にご視聴頂けるよう、引き続き番組作りに尽力して参ります。

以上